

いじめを経験して

松江市立八雲中学校 二年 川上貴也

僕が小学校高学年の時に僕はいじめられていました。いじめの内容は見た目についてあおってきたり、集団で無視されたり、物を隠されたりなどでした。僕は最初はどうすればいいかわからず頑張って耐え続けるしかできませんでした。でも、耐えれば耐え続けるほど、どんどんいじめがひどくなっていったため僕は勇気を出して「やめて。」と言ったり、親や先生に相談したりして今ではいじめられなくなりました。

僕はこの経験をもとになぜいじめは起きるのか、起きてしまった時にはどのような対応が良いのかを考えました。

まず、なぜいじめは起きてしまうのか、僕は二つの理由を考えました。

一つ目は、いじめられる人の性格です。いじめられている人というのは身の回りの人間よりも異なった部分があったり、少し気弱というのもあると思います。でも、僕が一番いじめられる対象だと思うのは、優しい性格を持った人です。そういった人はいじめではなくいじめをするその人を許してしまいます。そして、その性格を利用していじめが起きるのだと思います。

そして二つ目は、友達関係を考えてしまうことです。いじめの多くはいじりから始まると僕は考えます。いじりというのは友達の中で楽しむには大切な事なのかもしれません。でも、そのいじりがエスカレートしていくといじめへとなっていきます。僕もいじりだったはずがいじめへと繋がっていきました。それならばいじりをやめてほしいと友達にたのめばいい話なのですが、いじりをする人、いじめる人の周りにはそれを楽しむ人や友達がいます。なので、やめてと言ってその場の雰囲気が壊れたり、その後の友達との関係が気まづくなってしまうと考えてしまい、いじりからいじめへの変化や、いじめがもっとひどくなるということが起きてしまいます。

ではいじめが起きてしまった時はどう対応するべきなのか、まず一番した方が効果的なのは勇気を出して自分の思いを相手に自分自身で伝えるということです。伝えることで相手がやめるというのもありますが、相手のいじり、いじめはもしかしたら悪意自体は無いのかもしれない、そういったものは自分の気持ちをはっきりと言うことで悪かったなと反省しやめるのではないかと思います。でも、これには勇気がいります。先程書いた通り多くの人が友達関係を考えてしまい自分の思いを相手に伝えることが出来ないと思います。そういった人は、家族や友達、学校の先生、またはお悩み相談で専門の人などに相談したりなどがあります。相談するといった行動だけでも、少しは気持ちを落ち着かせられたり、気持ちの整理をすることができます。いじりやいじめが起きてしまった時、いじりやいじめだという確信がなくてもぜひともこの二つのことをやってほしいです。

ここまで読むと、いじめが起きるのは優しい人、気持ちを伝えられない人のせいだと思う人はいるかもしれません。でも、それは違います。優しい人は自分の優しさでいじめにちゃ

んと向き合っているし、気持ちを伝えられないのはその人の気遣いなのです。だから、優しい人、気持ちを伝えられない人にはなんの罪もありません。自分に嫌な事をしてくる人に対しても優しく気遣いが出来るのは僕はすごいと思います。

そして、最後に伝えたいのが、一人で苦しさを抱え込むのは絶対にやめてほしいということです。なぜかという、いじめの苦しみを一人で抱え込むのに耐えきれず死を選んでしまうというのをよくニュースで目にするからです。もうそんな悲しいニュースを見ないためにも苦しさを一人で抱え込まず、頼れるものを頼ってほしいです。これが、いじめを経験した僕が伝えたいことです。